



2024年8月13日

各 位

会 社 名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 栄樹
(コード：6193 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 黒田 勝
(TEL. 03-3578-5300)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月13日に公表した2025年3月期第2四半期（2024年4月1日～2024年9月30日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想

(1) 2025年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 2,800	百万円 100	百万円 95	百万円 70	円 銭 24.35
今 回 修 正 予 想 (B)	3,100	0	△60	△40	△14.21
増 減 額 (B - A)	300	△100	△155	△110	
増 減 率 (%)	10.7	-	-	-	
(参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	3,437	146	163	110	37.61

2. 連結業績予想修正の理由

IT&コンサルティング事業では、前回予想に対して売上は堅調に推移しており96百万円上回る見通しであるものの、子会社のバーチャレクス・コンサルティング株式会社で新規事業として拡大を目論むデジタルマーケティング領域の事業利益や子会社の株式会社タイムインターメディアの基幹システム開発案件におけるプロジェクト利益率が想定よりも低調に推移しており、営業利益が81百万円下回る見通しです。

アウトソーシング事業では、高利益ながら前期第1四半期会計期間末をもって終了した新型コロナウイルス感染症に伴う特需案件の影響を新規案件受注および既存案件拡大で埋め合わせる計画でしたが、売上は堅調に推移しているものの利益ベースでカバーするには至らない見込みです。この結果、当該セグメントでは、前回予想に対して売上は203百万円上回るものの、営業利益は19百万円下回る見通しです。

また、当第1四半期連結累計期間において、前回予想で見込んでいなかった保有投資有価証券の評価損失を当社にて49百万円営業外費用として計上しています。

これらの状況から、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、上記の通り業績予想を修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表した数値に変更はありません。今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった際には速やかに公表いたします。

- (注) 1. 当社における IT&コンサルティング事業とアウトソーシング事業の事業構成比は概ね 3 対 2 となっています。
2. 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。